

大相撲と鉄道

木村銀治郎

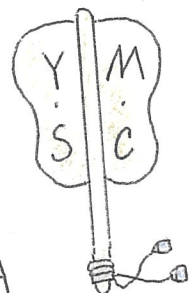
交通新聞社

大相撲と鉄道。一見関係がないように思われるこの二つの事について、現役の行司である木村銀治郎が書いた本です。

実は、大相撲のカシは、番付が決まる本番所以外に、年に百日程も“巡業”を行っています。

“巡業”では全国各地を飛び回り、時には海外まで赴いて相撲を取ります。ただでさえ体の大きいカシが何百人も一斉に大移動する際の鉄道のチケットの取り方や車内での様子を、実際にあった面白いエピソードも交えて紹介しています。

2-A



のほ本

by 75th



ジキル博士とハイド氏

高名な医者であり善良な紳士のジキル博士の家にいつからか、乱暴な青年のハイド氏が出入りするようになっていた。彼が何者か誰も知らない。ある日事件が起こる。発見された凶器はジキル博士のものだが、目撃した犯人は、ハイドだった。果たして二人の関わりは？

E組 NY



楊家将

北方謙三 作 PHP文庫

中国では「三国志」を超越する壮大な歴史ロマンとして人気のこの本ですが、「三国志」は長編で手が出にくいという点でも、北方さんの「楊家将」ならば上、下巻で完結するというところがオススメです。

10世紀末の中国を舞台に、軍人として卓越した才能を持った一族、楊家。一族の長びある楊業とてんの子達の活躍を描いた物語です。まるで戦場にいるかのような圧倒的描写が読みごたえがあり、もうこれぞオススメです。

S.H

レヰピ公開

「伊右衛門」と

絶対秘密

「コカ・コーラ」

みなさんはあ〜あの飲み物を家で再現してみたい！と思った事はありませんか？でも、レヰピなんて知らないし…なぜレヰピが出回らないのかそれは特許・知財を知らなければ見えてきます！知ってみたいとは思いませんか…

ど
っ
ち
か
賢
い
？

C.E

エドガー・ソーテル物語

タイウィンドロブレスキー

韓国、釜山、雨の中、猛毒を買う男

物語の舞台はアメリカ、ウスコンシントン北部

三度の流産で心に黒い種子を抱えるトールディ、

耳が聞こえない少年エドガーと彼の

農場で育てられ、訓練された「ソーテル犬」と呼ばれる思慮深く人に寄り添う犬たち。

そしてエドガーの父の不審な死…

エドガーとソーテル犬は莊厳な自然の中をさまよいかけめぐる 高2-D S.S R.T

